

# 青少年交換委員会 クリスマスパーティー

青少年交換委員会

委員長 金本

恒二郎

(大阪天王寺RC)

12月11日(土)、午後5時半から8時半まで、地区青少年交換委員会の主催する恒例のクリスマスパーティーがフェイスゲストハウス月花にて開催されました。今年は、隣接している第2640地区から、豊岡敬委員長及び茂野芳久副委員長を含む関係者各位(計13名うち来日学生4名)もご参加され、総勢70名を越える盛大で且つ賑やかなパーティーになりました。

パーティーの具体的内容については、派遣学生の先輩達で構成されるローテックスにより企画・準備・進行の全てが行われました。

最初に、次年度から次々年度に架けて派遣される予定の派遣候補生7名が、英語によるプレゼンテーションを行いました。各候補生とも初お披露目であるにも拘わらず、大勢の前で全く臆することなくしっかりと自らの夢や志を語ってくれました。頼もしい限りです。

次に、来日学生7名による出し物が演じられました。歌あり、楽器演奏あり、空手の単独演武あり、柔道の決め技披露(受け身役付き)あり、お菓子の家(鑑賞後みんなで分けて食べました)ありと、各来日学生ともこの日のために工夫を凝らし準備をしてきた様子が良く伝わり、会場から大きな拍手喝采を浴びていました。

続けて、ローテックスメンバーによる出し物があり、衣装を統一しての集団ダンスあり、歌・演奏ありと、こちらもよく準備と練習をしたことが窺われる立派な内容で、大いに会場を賑わしてくれました。

更に、皆が持ち寄ったプレゼントを交換しましたが、交換方法もよく工夫されていました。つまり、最初に近くの者同士がジャンケンをして負けた方が後に付き、その後は先頭の者同士がジャンケンをして、負けた方が次々と後に繋がっていき、最後には長い一本の行列が出来上がるというゲームを利用して、先頭の者から順番に好

きな(と言っても包装されているので良さそうな)プレゼントを1個もらっていくという方法で、とても盛り上がりました。

このように、今年のクリスマスパーティーは若い世代の参加者全員が主役となり、例年にも増して盛り沢山でしかも個々の企画内容が充実した、とても素晴らしいパーティーとなりました。殊に、綿密に企画と準備を行い、当日も進行を任せられるだけでなく、自らも出し物を演じてしまうというローテックス諸君の活躍振りには目を見張るものがありました。1年間単身で海外派遣された経験の成果がこういった形で具体的に実践されているのです。青少年交換プログラムの成功を強く確信できるひとときでした。

そして、充実感と余韻とが残る中、全員でクリスマスソングを合唱し、最後には会場の全員が輪になり「手に手つないで」の大合唱で締めくくられました。閉会后、参加者全員での記念撮影をしましたが、その後も名残と別れを惜しんであちこちで記念写真が撮られていました。

最後になりましたが、この紙面をお借りして、遠方より大勢でご参加され、パーティーの盛上げと成功にご協力を下さいました第2640地区の皆様に対し、心より御礼と感謝の気持ちを述べさせていただきます。本当に有り難うございました。

